

ひょうごらくのうメモ

平成28年10月号

おいしいね 兵庫の牛乳 もう一本！



挿絵提供 題名 “うしのごはんちゅう” 清水谷 まお 10才
(徳島県阿南市)

目次 (第33回らくのうひょうごフェスティバル応募作品)

1	生乳動向 (累計)
2	行事メモ 28年10月
3	計画生産推進一覧表《28年度9月》
4	用途別販売成績《28年度9月》
5	生乳検査実績速報《28年度9月》
6	淡路家畜市場情報《28年度9月》
7	隣県家畜市場情報《28年度9月》
8	北海道産牛価格情勢《28年度9月》
9	北海道乳牛産地情報《28年度9月》
10	牛群成績平均情報《28年度9月》
11	乳用牛改良情報《28年度9月》
12	輸入粗飼料の情勢《28年度9月》

酪農メモ

平成28年10月
兵庫県酪農協

報告

1. 生乳生産量の動き（全国）・・・（平成28年8月・牛乳乳製品統計）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成28年 4月	630.4	100.9
平成28年 5月	653.4	100.7
平成28年 6月	626.3	100.3
平成28年 7月	631.3	100.4
平成28年 8月	630.4	100.3
平成28年 9月		
平成28年10月		
平成28年11月		
平成28年12月		
平成29年 1月		
平成29年 2月		
平成29年 3月		
平成28年度累計	3151.8	100.5

2. 生乳計画生産推進の状況（兵庫県酪連扱い分・公共施設を除く） （平成28年9月・前年より128.7の減、・9管内中3団体が前年より増加）

	計画生産対象数量（kg）	対前年比（%）	対前々年比（%）	戸数（戸）
平成28年 4月	7,357,473	97.1	92.6	289
平成28年 5月	7,476,651	97.8	91.4	287
平成28年 6月	6,942,562	98.0	93.2	285
平成28年 7月	6,841,838	97.7	96.7	284
平成28年 8月	6,548,405	97.6	95.7	284
平成28年 9月	6,451,156	98.0	96.5	283
平成28年10月				
平成28年11月				
平成28年12月				
平成29年 1月				
平成29年 2月				
平成29年 3月				
平成28年度累計	41,618,085	97.7	94.2	283

3. 行事メモ <平成28年9月・10月>

- ◆ 9月22日 北海道預託牧場視察・ナショナルショー参加ツアー（25日まで）
全酪連預託事業受入牧場（12戸）巡回視察しました。
それぞれ特徴ある農場で、牧場長の性格に預託牛も似てくる様な気がしました。下牧時の我娘牛に注目・期待しておいて下さい。
組合預託事業（全酪連）は偶数月に上牧（預入）しています。ご検討下さい。

◆ 23日 第7回 理事会

報告事項

- 1) 平成28年度生乳計画生産進捗状況について
- 2) 北海道初妊牛展示販売会について
- 3) 生乳取引について
- 4) 平成28年度下期行事日程について
- 5) 平成27年度事業預り金等（拠出金）の返還について

協議事項

- 1) 職員退職給与規程内規の制定について
- 2) 役員退任給与引当規程内規の制定について
- 3) 役員選出に関する内規の制定について
- 4) 酪農ヘルパー安定化基金の取崩について
- 5) コピー機（リース機種）の変更について
- 6) 生乳生産基盤強化対策積立金規程の制定について
- 7) その他 BVD検査実施の検討

◆ 10月 4日 近畿生乳販連・理事会

- ◆ 11日 乳用初妊牛展示購買会（淡路）淡路事業所特設市場
北海道初妊牛15頭を展示（展示価格72万～93万円）
多数ご来場頂き即時抽選にて全頭完売しました。

- ◆ 18日 // (小野) 兵庫供給センター
淡路会場に引き続き同じく15頭を展示（67万～87万円）
秋晴れの中、多数ご来場頂きお目当ての牛に投票。投票者の中より赤玉を引当られた組合員さんに大きな歓声や、惜しくも当たらなかった方からはため息など…。ご購入ありがとうございました。
随時、導乳牛購買を受け付けますのでご連絡ください。（購買課）

4. 行事予定<平成28年10月・11月>

- 10月22日 第38回兵庫県民農林漁業祭 明石公園千畳敷広場
23日 //
- 29日 第34回らくのうようごフェスティバル
淡路島牧場(株)特設会場
- 11月 2日 共進牧場 畜魂祭 (小野市)
16日 日本酪農研究大会 ポートピアホテル
17日 上期監事監査会
24日 全酪連 酪友フォーラム (姫路市)
25日 第8回理事会

● 11月精液配布コース予定日

1日西播コース 8日東播コース 15日丹波コース 19日淡路コース

22日但馬コース

平成28年度9月分計画生産推進一覽表

(単位:kg, %)

委託団体名	9月分 生乳生産乳量	前年対比	今年度累計	前年対比	月別	総受託乳量	前年対比
旧兵庫六甲農協管内	1,397,450.0	98.1	9,295,217.0	101.0	4月	7,357,473.0	97.1
旧みのり農協管内	361,978.0	96.3	2,300,048.0	91.5	5月	7,476,651.0	97.8
旧東播磨農協管内	1,600,143.0	98.3	10,216,657.0	98.5	6月	6,942,562.0	98.0
旧西播磨農協管内	510,078.0	93.1	3,160,307.0	91.8	第1四半期	21,776,686.0	97.6
旧たじま農協管内	39,830.0	106.4	299,200.0	113.3	7月	6,841,838.0	97.7
旧北但酪農協管内	165,965.0	85.6	1,156,644.0	95.8	8月	6,548,405.0	97.6
旧兵庫丹但酪農協管内	426,405.0	100.8	2,732,277.0	101.8	9月	6,451,156.0	98.0
旧淡路日の出農協管内	394,900.0	101.0	2,449,470.0	98.3	第2四半期	19,841,399.0	97.8
旧淡路島酪農協管内	1,554,407.0	99.8	10,008,265.0	96.1	10月		0.0
					11月		0.0
					12月		0.0
					第3四半期	0.0	
					1月		0.0
					2月		0.0
					3月		0.0
					第4四半期	0.0	0.0
合計	6,451,156.0	98.0	41,618,085.0	97.7	合計	41,618,085.0	

公共施設分

委託団体名	9月分 生乳生産乳量	今年度 累計
旧兵庫六甲農協		
旧みのり農協		
旧東播磨農協	24,919.0	148,168.0
旧西播磨農協	1,863.0	8,576.0
旧たじま農協		
旧北但酪農協		
旧兵庫丹但酪農協		
旧日の出農協		
旧淡路島酪農協	27,623.0	164,105.0
合計	54,405.0	320,849.0

公共施設含む

9月分 総乳量
1,397,450.0
361,978.0
1,625,062.0
511,941.0
39,830.0
165,965.0
426,405.0
394,900.0
1,582,030.0
6,505,561.0

公共施設含む

今年度 総乳量
9,295,217.0
2,300,048.0
10,364,825.0
3,168,883.0
299,200.0
1,156,644.0
2,732,277.0
2,449,470.0
10,172,370.0
41,938,934.0

公共施設含む

農家戸数		
4月1日	増減数	H27.9.1 前年対比
47	-1	46
16	0	16
42	-1	41
13	0	13
3	-1	2
12	0	12
24	0	24
24	-2	22
108	-1	107
289	-6	283
		85.2%

*戸数参考:「個人別乳量報告に係る産業者等報告書」

平成28年度9月用途別販売実績（速報）

平成28年10月17日
一般社団法人 中央酪農会議

1) 総受託乳量

2) 販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	9月		4-9月累計		指定団体	9月		4-9月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	306,324	99.4 (99.6)	1,946,734	101.5 (101.7)	北海道	306,324	99.4	1,946,734	101.5
青森	4,957	97.5	31,502	100.2					
岩手	15,982	97.3	101,782	99.6					
宮城	9,145	96.5	58,248	97.7					
秋田	2,187	99.6	13,934	100.9					
山形	5,014	96.7	32,280	95.8					
福島	5,538	102.6	35,689	102.2					
東北生乳販連	42,824	97.9	273,435	99.2 (99.4)	東北生乳販連	42,822	97.9	273,427	99.2
茨城	12,372	100.1	79,475	100.4					
栃木	25,863	100.1	163,202	99.8					
群馬	16,449	99.6	105,777	99.1					
埼玉	4,255	97.5	28,238	96.7					
千葉	16,315	96.3	105,543	97.8					
東京	744	103.3	4,986	104.6					
神奈川	2,702	93.4	18,555	95.0					
山梨	973	93.4	6,109	94.9					
静岡	6,794	100.9	43,730	101.6					
関東生乳販連	86,466	98.9	555,614	99.2					
新潟	3,675	95.9	23,585	94.9					
富山	952	95.4	6,203	97.1					
石川	1,586	93.4	10,444	96.7					
福井	464	91.6	2,985	90.5					
北陸酪連	6,678	94.9	43,216	95.3	北陸酪連	6,678	94.9	43,216	95.3
長野	8,075	100.6	49,667	98.8					
岐阜	3,042	95.2	19,400	95.6					
愛知	13,919	98.6	90,505	98.8					
三重	4,054	104.4	26,300	103.7					
東海酪連	29,090	99.6	185,872	99.1	東海酪連	29,090	99.6	185,872	99.1
滋賀	1,489	97.2	9,607	98.5					
京都	1,624	95.7	10,550	95.5					
大阪	763	99.6	4,933	98.3					
兵庫	6,451	98.0	41,618	97.7					
奈良	1,996	101.3	12,807	100.5					
和歌山	382	102.4	2,473	104.8					
近畿生乳販連	12,705	98.3	81,989	98.2	近畿生乳販連	12,705	98.3	81,989	98.2
鳥取	4,434	101.9	27,786	99.5					
島根	5,334	101.7	33,204	102.7					
岡山	7,122	96.3	45,945	97.0					
広島	3,819	97.8	24,155	97.9					
山口	1,271	144.1	7,979	138.1					
中国生乳販連	21,981	100.9 (98.9)	139,070	100.7 (98.7)	中国生乳販連	21,981	100.9	139,070	100.7
徳島	2,476	99.7	15,743	98.8					
香川	2,802	101.5	17,719	100.8					
愛媛	2,215	96.8	14,535	96.7					
高知	1,716	100.7	10,991	101.3					
四国生乳販連	9,209	99.7	58,988	99.3	四国生乳販連	9,209	99.7	58,988	99.3
福岡	6,131	96.6	39,169	95.3					
佐賀	1,181	90.1	7,737	92.4					
長崎	3,197	95.7	20,344	94.8					
熊本	19,220	98.4	122,174	98.2					
大分	5,556	97.1	35,998	95.4					
宮崎	6,362	99.3	41,217	97.7					
鹿児島	6,631	95.0	43,957	95.2					
九州生乳販連	48,278	97.2	310,595	96.6	九州生乳販連	48,278	97.2	310,595	96.6
都府県	257,230	98.6 (98.4)	1,648,779	98.7 (98.5)	都府県	257,229	98.6	1,648,771	98.7
合計	563,554	99.0 (99.0)	3,595,513	100.2 (100.2)	合計	563,553	99.0	3,595,505	100.2

注1) この速報は、キロ(kg)で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比

3) 飲用牛乳向

4) はっ酵乳等向

指定団体	9月		4-9月累計		指定団体	9月		4-9月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	85,622	119.8	413,989	108.4	北海道	1,626	90.8	9,957	94.3
東北生乳販連	33,374	100.6	198,063	99.1	東北生乳販連	5,835	96.1	42,076	107.0
関東生乳販連	69,781	100.5	421,904	100.0	関東生乳販連	12,167	98.5	78,675	100.2
北陸酪連	6,371	94.5	41,024	95.1	北陸酪連	226	107.2	1,593	104.9
東海酪連	24,610	99.4	152,683	98.7	東海酪連	3,876	104.4	24,507	104.5
近畿生乳販連	11,935	98.3	76,737	98.2	近畿生乳販連	768	99.2	4,991	99.2
中国生乳販連	16,382	102.4	101,552	102.8	中国生乳販連	4,496	95.7	29,127	94.7
四国生乳販連	8,712	99.5	55,895	102.3	四国生乳販連	310	101.8	1,927	106.7
九州生乳販連	37,148	97.0	223,693	96.0	九州生乳販連	7,463	104.5	43,647	100.6
都府県	208,313	99.5	1,271,552	99.0	都府県	35,142	99.7	226,543	101.2
合計	293,935	104.7	1,685,541	101.1	合計	36,768	99.2	236,500	100.9

5) 特定乳製品向け (脱脂粉乳・バター等向け)

6) 生クリーム等向け

指定団体	9月		4-9月累計		指定団体	9月		4-9月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	82,833	85.8	682,163	100.4	北海道	103,864	99.4	627,646	99.7
東北生乳販連	1,957	76.8	23,010	93.0	東北生乳販連	1,427	86.0	8,940	88.9
関東生乳販連	2,983	75.0	44,976	92.3	関東生乳販連	1,474	92.6	9,677	90.2
北陸酪連	26	102.1	276	84.6	北陸酪連	48	92.7	290	94.5
東海酪連	156	87.4	5,412	90.9	東海酪連	328	75.9	2,411	99.0
近畿生乳販連	0	-	247	84.0	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	309	95.6	3,052	85.2	中国生乳販連	760	105.4	5,132	107.4
四国生乳販連	0	-	62	3.4	四国生乳販連	184	100.4	1,081	102.3
九州生乳販連	748	71.4	25,057	99.3	九州生乳販連	2,819	92.6	17,592	92.2
都府県	6,179	76.3	102,093	92.2	都府県	7,039	91.6	45,123	93.1
合計	89,012	85.1	784,256	99.2	合計	110,903	98.8	672,769	99.3

7) チーズ向け

8) 全乳哺育向け

指定団体	9月		4-9月累計		指定団体	9月		4-9月累計	
	ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %		ト	前年同月比 %	ト	前年同期比 %
北海道	32,381	95.6	212,979	98.6	北海道	0	-	0	-
東北生乳販連	229	77.3	1,338	83.5	東北生乳販連	1	103.4	7	101.1
関東生乳販連	61	93.8	383	94.7	関東生乳販連	0	-	0	-
北陸酪連	6	100.8	33	100.6	北陸酪連	0	-	0	-
東海酪連	120	93.3	860	95.0	東海酪連	0	-	0	-
近畿生乳販連	2	85.6	13	108.1	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	34	99.3	206	102.2	中国生乳販連	0	-	0	-
四国生乳販連	4	-	21	78.9	四国生乳販連	0	-	0	-
九州生乳販連	100	99.0	607	103.1	九州生乳販連	0	-	0	-
都府県	555	87.7	3,461	91.7	都府県	1	103.4	7	101.1
合計	32,936	95.5	216,439	98.5	合計	1	103.4	7	101.1

注) この速報は、キロ (kg) で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

生乳検査実績速報

＊ ＊平成28年9月分＊ ＊

全組合におけるバルク検査月間平均値は、乳脂肪率3.78%（前年同月-0.06%）、乳蛋白質率3.31%（前年同月比±0.00%）、無脂固形分率8.70%（前年同月比±0.00%）、体細胞数33.5万/ml（前年同月比+0.3万/ml）細菌数6.2万/ml（前年同月比+1.4万/ml）であった。

地域別バルク検査月間平均値並びに地域別・組合別の乳質改善達成状況を別表に示す。

（単位：戸・%・万/ml）

地域名	検査戸数		乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
阪 神	47	47	3.79	3.79	3.33	3.25	8.68	8.61	36.8	34.0	6.3	6.7
播 州	70	70	3.77	3.76	3.32	3.25	8.71	8.64	37.9	34.5	5.6	6.1
丹 但	37	37	3.79	3.74	3.36	3.31	8.74	8.70	39.8	45.2	13.1	9.3
淡 路	128	129	3.78	3.78	3.28	3.22	8.68	8.62	28.0	30.6	4.6	4.7
県 平 均	282	283	3.78	3.77	3.31	3.24	8.70	8.63	33.5	34.1	6.2	6.0

『地域別乳質改善目標達成割合』

（単位：件・%）

地域名	検査延べ件数	乳脂肪率 3.7%以上	乳蛋白質率 3.2%以上	無脂固形分率 8.7%以上	体細胞数 25万未満	細菌数 10万未満
阪 神	139	67.6	79.9	53.2	39.6	83.5
播 州	210	64.3	84.8	55.2	37.6	87.6
丹 但	111	57.7	87.4	67.6	44.1	79.3
淡 路	382	62.6	73.0	51.6	59.2	92.1
県 平 均	842	63.2	79.0	54.9	48.6	87.9

『旧組合管内別バルク検査平均値及び目標達成割合』

（単位：件・%・万/ml）

旧組合管内	検査延べ件数	乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
		検査成績	3.70%以上	検査成績	3.20%以上	検査成績	8.70%以上	検査成績	25万未満	検査成績	10万未満
兵 庫 六 甲	139	3.79	67.6	3.33	79.9	8.68	53.2	36.8	39.6	6.3	83.5
み の り	48	3.71	60.4	3.31	77.1	8.69	50.0	40.3	45.8	5.2	91.7
東 播	123	3.78	71.5	3.31	85.4	8.71	52.0	37.9	33.3	6.1	86.2
西 播	39	3.81	46.2	3.36	92.3	8.76	71.8	34.7	41.0	4.5	87.2
北 但	36	3.75	58.3	3.37	88.9	8.79	66.7	32.4	47.2	13.1	69.4
兵 庫 丹 但	69	3.80	55.1	3.36	87.0	8.72	66.7	44.8	42.0	14.1	82.6
た じ ま	6	3.84	83.3	3.30	83.3	8.69	83.3	26.7	50.0	1.3	100.0
淡 路 日 の 出	64	3.70	65.6	3.26	65.6	8.64	57.8	35.1	54.7	5.9	89.1
淡 路 島	318	3.80	61.9	3.29	74.5	8.69	50.3	26.5	60.1	4.3	92.8
県 平 均	842	3.78	63.2	3.31	79.0	8.70	54.9	33.5	48.6	6.2	87.9

淡路家畜市場情報

平成28年9月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	29	266,127	332,640	200,880			54
前回	23	281,974		346,680	142,560			54	-15,847	-5.6%	
前年	16	215,933		285,120	45,360			54	50,194	23.2%	
オス	今回	23	308,082	360,720	247,320			55			
	前回	20	293,166	354,240	216,000			55	14,916	5.1%	
	前年	20	272,646	346,680	187,920			53	35,436	13.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	1	47,520	47,520	47,520			53
前回											
前年											
オス	今回	15	97,920	125,280	50,760			51			
	前回	13	106,422	131,760	76,680			52	-8,502	-8.0%	
	前年	15	68,472	98,280	37,800			49	29,448	43.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は平成28年8月25日・前年は平成27年9月9日

平成28年9月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	25	257,386	317,520	11,880			56
前回	29	266,127		332,640	200,880			54	-8,741	-3.3%	
前年	24	188,640		264,600	52,920			54	68,746	36.4%	
オス	今回	21	288,206	360,720	69,120			55			
	前回	23	308,082	360,720	247,320			55	-19,876	-6.5%	
	前年	38	227,511	315,360	64,800			55	60,695	26.7%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	1	54,000	54,000	54,000			60
前回	1	47,520		47,520	47,520			53	6,480	13.6%	
前年	3	40,320		60,480	28,080			47	13,680	33.9%	
オス	今回	15	92,160	122,040	9,720			53			
	前回	15	97,920	125,280	50,760			51	-5,760	-5.9%	
	前年	30	68,724	95,040	10,800			49	23,436	34.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は平成28年9月9日・前年は平成27年9月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
25年次	39,224	1,064	39,408	2,591	40,251	535	47,630	134,379	
26年次	45,380	991	41,498	2,237	45,757	433	46,726	124,624	
27年次	64,443	1,030	65,296	2,004	77,520	400	75,102	121,664	
27	1	42,435	89	30,627	199	37,896	45	42,589	9,941
	2	45,736	89	42,098	171	47,849	23	48,291	9,125
	3	50,936	99	44,416	173	52,522	19	53,492	10,032
	4	52,510	79	53,030	196	62,554	25	62,662	10,143
	5	62,359	50	73,460	108	92,475	16	77,131	8,830
	6	77,393	103	86,335	116	115,440	18	95,198	10,111
	7	81,797	61	86,855	185	121,298	16	78,017	10,861
	8	79,956	90	89,328	149	88,034	37	67,397	10,256
	9	66,669	89	67,237	117	74,520	82	73,065	11,554
	10	70,556	88	70,116	206	69,880	27	83,549	10,357
	11	70,928	92	69,903	189	89,616	46	101,594	9,667
	12	73,215	101	85,292	195	103,586	46	113,770	10,787
28	1	76,548	90	91,636	158	111,080	27	112,142	9,709
	2	82,502	82	91,509	156	95,842	31	113,885	9,279
	3	98,757	102	102,968	185	102,004	29	113,158	10,264
	4	105,777	86	124,165	156	114,895	26	119,542	9,276
	5	116,872	70	128,958	111	128,179	19	135,924	9,004
	6	125,864	37	135,982	110	135,617	14	134,484	9,233
	7	105,962	62	133,011	133	160,007	13	116,795	9,572
	8	117,145	77	121,360	135	118,908	20	98,135	11,045
	9	96,317	77	103,858	182	89,843	32	87,204	10,264
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
25年次	137,628	3,156	136,753	4,398	168,714	3,078	147,093	144,430	
26年次	160,668	3,350	157,194	4,692	200,255	3,030	162,876	153,389	
27年次	192,996	3,604	190,382	5,143	246,738	3,004	197,323	166,751	
27	1	148,012	331	138,651	487	190,521	306	145,544	14,171
	2	150,483	333	148,141	419	198,664	291	150,936	13,728
	3	165,403	365	152,588	429	199,459	244	162,305	14,768
	4	171,570	316	168,726	492	224,249	257	184,720	14,248
	5	194,555	259	197,189	342	254,611	257	201,660	12,589
	6	235,273	303	238,612	349	284,977	219	222,884	13,166
	7	237,950	253	233,108	485	300,673	172	224,914	13,620
	8	228,293	269	223,347	386	283,628	194	211,544	13,009
	9	203,124	321	209,127	366	274,057	214	210,252	14,814
	10	205,402	262	200,233	509	251,479	241	209,951	14,091
	11	203,818	272	191,025	392	267,273	303	220,372	13,877
	12	200,377	320	200,698	487	274,401	306	226,365	14,670
28	1	213,238	303	202,822	475	281,982	295	224,257	14,061
	2	214,273	342	209,469	444	271,354	276	229,554	13,772
	3	223,849	381	217,176	531	277,722	287	236,767	15,201
	4	253,843	323	255,633	430	308,423	260	250,058	13,264
	5	279,766	301	270,527	383	315,630	236	264,799	13,066
	6	294,349	209	287,045	450	340,358	233	281,350	12,717
	7	285,071	244	280,770	363	384,258	180	285,459	12,677
	8	277,388	276	280,096	391	339,831	193	270,947	14,607
	9	281,508	261	280,947	499	321,886	236	255,391	14,400
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道産牛価格情勢

(平成28年9版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

28年9月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
			円	円	%
ホクレン北見市場	2日	642,000	584,000	58,000	109.9%
ホクレン十勝市場	7日	761,000	607,000	154,000	125.4%
ホクレン北見市場	8日	729,000	584,000	145,000	124.8%
ホクレン南北海道市場	9日	757,000	618,000	139,000	122.5%
ホクレン釧路市場	14日	730,000	562,000	168,000	129.9%
ホクレン根室市場	15日	770,000	614,000	156,000	125.4%
ホクレン豊富市場	16日	750,000	582,000	168,000	128.9%
ホクレン十勝市場	21日	757,000	631,000	126,000	120.0%
平均		753,000	605,000	148,000	124.5%

10月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン十勝市場	5日	761,000円	625,000円
ホクレン南北海道市場	7日	757,000円	598,000円
ホクレン豊富市場	13日	750,000円	587,000円
ホクレン根室市場	17日	770,000円	589,000円
ホクレン釧路市場	18日	730,000円	578,000円
ホクレン十勝市場	19日	757,000円	633,000円
ホクレン北見市場	20日	729,000円	577,000円
	日	円	円
平均		753,000円	601,000円

11月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン十勝市場	8日	616,000円
ホクレン釧路市場	9日	561,000円
ホクレン根室市場	10日	590,000円
ホクレン南北海道市場	11日	540,000円
ホクレン豊富市場	17日	574,000円
ホクレン根室市場	24日	604,000円
ホクレン北見市場	28日	546,000円
ホクレン十勝市場	29日	634,000円
平均		603,000円

兵庫県酪農協 購買課

北海道乳牛産地情報

(平成28年10月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	4.5~5.5	横遣い	札幌管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計92.9%、累計で98.2%、苫小牧管内月計で96.2%、累計で97.7%の実績となっております。
	初妊牛	6.8~7.8	強含み	10月の初妊牛動向については12月が中心となりますが、資源の流れが速く、2月分娩までで流通し始めております。販売される腹はF1腹がメインとなり、選別精液腹は基本的に自家保留分となっておりますので販売物としての流通は少ないものと思われ、他管内の価格高騰により購買客の流入が引き合いはかかなり高いものとなっておりますのでお早めの購買をよろしくお願いたします。
	経産牛	5.0~5.5	横遣い	根管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で98.6%、累計で102.8%、中標津管内月計で98.7%、累計で101.5%の実績となっております。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	4.5~5.5	横遣い	10月の初妊牛動向につきましては、12月から1月分娩牛が中心となります。9月の管内乳牛市場の平均価格(税込、ET在胎除)は釧路市場726千円、根室市場751千円と高値を維持しております。この様な状況の中、引き続きメガファームや新規就農者向けの導入が活発であり、資源も不足している事から相場は強含みで予想されます。また、今後の相場高騰を見越して先物買いの傾向も強まる可能性があるため、導入を希望される場合は早めのご注文をお願いいたします。
	初妊牛	7.0~8.0	強含み	
	経産牛	5.0~5.5	横遣い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	4.5~5.5	横遣い	帯広管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で100.3%、累計で103.2%の実績となっております。
	初妊牛	7.0~8.0	強含み	10月の初妊牛動向については、12月~1月分娩中心となります。公共牧場からの下牧も始まり、資源は出回る時期となつてまいりますが、府県・道内の大型農家の導入が同時に行われますので引き合いは強いものと思われ、腹内容としてはF1腹が多いですが、育成牛価格の高値維持により選別腹の引き合いも強くなってまいります。また、価格の高騰により、思うように購買できない購買客が遠腹や経産牛の導入にシフトすることが考えられますので、早めの購買をお勧めいたします。
	経産牛	5.2~6.0	やや強含みや	
道北管内	育成牛(10-12月令)	4.5~5.5	横遣い	道北管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、管内月計で100.8%、累計で101.7%、北見管内月計で99.6%、累計で100.3%の実績となっております。函管内とも順調な生乳生産体制、副産物の高値安定により酪農家の景気が押し上げられているものと思われ、この様な状況の中、各農協の自家保留の傾向が強まっております。初妊牛販売頭数が減少し資源不足となっております。また、各市場での上場頭数減少が顕著に現れてきております。これから秋口に入り、道内大型牧場の増頭、都府県の需要増がこれから高まり価格高騰が予想されます。腹はF1中心で、雌雄選別腹も増えつつあります。
	初妊牛	7.0~7.8	強含み	
	経産牛	4.5~5.0	横遣い	
道内管内	育成牛(10-12月令)	4.5~5.5	横遣い	道内の9月中旬までの生乳生産量前年比は99.2%、累計で101.6%の実績となっております。
	初妊牛	7.0~8.0	強含み	10月の初妊牛動向につきましては、12月から1月分娩が中心となります。9月にも引き続き道内及び都府県の大型導入が初妊牛相場を引っ張る形になると予想されます。依然としてF1腹の引き合いも強い事から高値維持で推移するものと思われ、ここへきて一段と雌雄選別腹の引き合いも強くなってきております。来道される際は風邪等引かない様、お気を付け下さい。
	経産牛	5.0~5.8	横遣い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいたらけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所が世話を致します。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368

牛群成績平均情報 1

平成 28年 09月分

2016/10/12

64

1 / 2

兵庫

全 125 戸中 104 戸集計

年間累計 k g (1戸平均) 千円 (1戸平均) 生乳100kgに要した...

検査日成績 (1戸平均) 検査日成績 (1戸平均) 検査日成績 (1戸平均)...

前回の回数 31 検査日数 10.5...

移動 13ヵ月 検査成績 検査日 検査成績 検査日...

検査日成績 / 検査成績 / 検査日成績 / 検査日成績...

検査日 検査成績 検査日 検査成績 検査日 検査成績...

搾乳管理 ユニット 1回平均 1頭平均...

搾乳管理 1頭平均 2回目 54 % 53 %...

240~305日間 成績 乳量 乳脂率...

検査日 検査成績 検査日 検査成績 検査日 検査成績...

搾乳管理は、2回搾乳農家で集計

検査日 検査成績 検査日 検査成績 検査日 検査成績...

参考情報MAXは一夕時乳量、DNは総乳ビーンツに換じた日数、MIDは分娩後60日乳量、LPは総乳量

牛群成績平均情報 2

平成 28年 09月分

2016/10/12

64

2 / 2
兵庫

全 125 戸中 104 戸集計

移動 13ヵ月 成績 検定月	授精		授精状況			授精状況 (除糞牛を含む)			授精状況			授精状況									
	授精率	交配率	授精回数	授精回数	授精回数	授精回数	授精回数	授精回数	授精回数	授精回数	授精回数	授精回数	授精回数								
9	973 (9.4)	36 (2.7)	40	29	86	15	0	53	2848 (22.8)	167	7	14	17	15	47	62	13	63	24	12	90
10	1018 (9.8)	36 (2.6)	39	36	83	14	3	61	2575 (20.1)	167	7	14	17	15	47	62	13	64	24	12	90
11	973 (9.4)	31 (2.7)	39	37	86	14	2	60	2387 (18.6)	169	7	13	16	15	49	62	13	64	23	11	90
12	1034 (9.9)	33 (2.6)	37	40	87	14	5	64	2284 (18.1)	172	6	14	15	14	51	61	13	64	23	11	90
1	1022 (9.8)	32 (2.6)	39	42	81	13	9	58	2324 (18.2)	175	7	13	15	13	51	62	13	64	23	11	90
2	940 (9.0)	30 (2.7)	39	41	84	14	4	59	2349 (18.9)	175	7	14	16	13	51	61	13	64	23	11	90
3	1007 (9.7)	29 (2.7)	39	40	84	15	5	61	2425 (19.7)	173	7	14	15	13	51	62	13	64	23	11	90
4	929 (8.9)	29 (2.7)	38	38	85	14	9	56	2391 (20.8)	173	8	15	15	12	50	62	11	65	24	11	90
5	952 (9.2)	30 (2.9)	43	46	95	15	6	53	2589 (22.9)	172	8	16	15	12	49	62	11	65	23	11	90
6	812 (7.8)	27 (2.8)	40	45	93	14	8	57	2779 (24.2)	170	8	16	16	12	49	63	11	64	24	12	90
7	747 (7.2)	33 (3.0)	47	19	95	14	5	57	2832 (24.6)	171	7	16	16	13	48	62	12	64	24	12	90
8	705 (6.8)	28 (2.9)	44	0	89	14	1	54	2777 (24.8)	170	7	16	16	13	48	62	12	64	24	12	90
9	423 (4.1)	26 (2.8)	41	0	84	13	0	51	2554 (24.6)	174	7	16	15	13	49	62	12	64	24	12	90
平均・計	11112 (106.8)	33 (2.7)	18	38	87	14	7	57	2274 (21.9)	170	7	15	16	13	49	62	12	64	24	12	90
前年成績	10507 (101.0)	31 (2.6)	18	37	87	16	0	52	2221 (21.4)	169	8	14	16	14	48	62	12	63	24	12	90

○内は、1戸平均。

項目別 種雄牛成績	種雄牛区分別頭数			種雄牛情報		
	頭数	成績あり 種雄牛	後代 検定	乳量	乳脂率	蛋白質率
授精・妊娠	3831	45	13	7	47	47
助産月未産(妊娠維持)	771	66	24	9	25	25
未経産	391	79	30	17	4	4
1産	1626	75	28	6	19	19
2産以上	3203	71	26	29	29	29
合計	1269					

注) 乳代効果と無胎形分産には海外種雄牛が含まれておりません。

月別分娩 予定頭数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計頭数
頭数	9%	14%	15%	15%	13%	13%	15%	6%	2472
(初産)	(12)	(12)	(15)	(17)	(14)	(14)	(13)	(4)	(210)

年間 追加分 除糞牛	追加分			追加分			追加分			追加分			追加分		
	頭数	比率	年齢(歳-月)	追加分	比率	年齢(歳-月)	追加分	比率	年齢(歳-月)	追加分	比率	年齢(歳-月)	追加分	比率	年齢(歳-月)
未経産	488	9.3	4.0 ()	4.0	8.0	12.0	4.0	20.0	60.0	25	1	5	6	6	15
1産	942	18.0	20.2 (8.6)	11.3	2.3	17.9	18.3	13.6	18.7	257	5	6	6	6	15
2産	10	0.2	16.9 (9.2)	11.7	3.4	2.5	9.2	17.8	17.5	12.3	23.9	326	6	6	15
3産以上	19	0.4	26.6 (15.1)	8.0	2.9	3.2	9.6	18.4	13.2	12.1	21.1	801	15	15	15
除糞日までの 除糞日数	276	(265)	467	269	295	308	290	392	289	338					

注) 除糞牛平均には授精月所産牛は含まれておりません。

授精報告	授精報告			授精報告			授精報告			
	頭数	布	分	頭数	布	分	頭数	布	分	
未経産	263	78	%	78	%	74	%	74	%	74
経産	3575	74	%	74	%	74	%	74	%	74
頭数	1254	55	60~99日	12	7	3	23			
初前	223	23	31	18	9	18				
回	685	18	29	22	11	19				
授	3037	22	29	21	11	18				
精	繁殖に供さない牛									
合計	6 頭									

月	経産牛1頭当たり年間成績			P/F比		
	乳量	乳脂率	蛋白質率	無胎形分率	P/F比	無胎形分率
9	8946	3.89	3.31	8.77	0.85	8.77
10	8942	3.90	3.31	8.77	0.85	8.77
11	8948	3.90	3.32	8.77	0.85	8.77
12	8959	3.90	3.32	8.77	0.85	8.77
1	8961	3.90	3.32	8.78	0.85	8.78
2	8981	3.90	3.32	8.78	0.85	8.78
3	8979	3.92	3.32	8.78	0.85	8.78
4	8980	3.93	3.32	8.78	0.85	8.78
5	8972	3.94	3.33	8.78	0.85	8.78
6	8930	3.94	3.33	8.78	0.84	8.78
7	8962	3.95	3.33	8.79	0.84	8.79
8	9037	3.95	3.33	8.78	0.84	8.78

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。

～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な(H28年8月現在)輸入検定済種雄牛(アメリカ)

T P I

サイヤーサマリーズ
《2016-4》

略号	種雄牛名号	GTPI	乳量 (kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	信頼度	体細胞	生産 寿命	体型のEBV			血統情報		分娩 難易度	備考
											体型	乳器	四肢	父牛 ×	母系祖父		
777H2792	サンデーハレー サルーン ET	2,669	2,494	87	-0.04	79	0.02	98	2.98	0.3	2.84	1.56	1.54	96	アイト × プラネット	9.4	
507H11351	シニガル ベイ スーパーサイヤー ET	2,657	2,155	103	0.18	66	0.00	99	2.84	5.7	1.32	0.66	0.32	99	ロハスト × プラネット	7.4	
507H11621	S-S-I スノーマン メイワフー ET	2,616	2,287	57	-0.22	73	0.04	97	2.77	5.5	1.13	0.70	1.38	91	スノーマン ソクラテス	7.2	
507H11708	デスター ルーキー 11057 ET	2,550	1,024	77	0.32	41	0.08	94	2.78	5.7	1.89	1.37	1.17	92	ブツケム プロコ	5.7	
507H11585	サンデーハレー ステージング ET	2,542	1,976	54	-0.16	60	0.00	99	3.15	5.6	2.14	1.08	1.63	97	ロハスト × プラネット	7.1	
507H11388	S-S-I ブツケム モーガン ET	2,525	1,209	56	0.08	44	0.06	99	2.85	7	1.65	1.15	1.07	96	ブツケム ショトル	7.3	
507H11314	マウントフールド SSIDCY モーグル ET	2,514	1,172	77	0.26	36	0.00	99	3.01	3.8	2.46	2.57	2.62	99	ドロシー × マーシ	6	
507H11525	ミスター OCD ロハストドナロ ET	2,503	1,020	64	0.22	43	0.08	98	2.85	6.2	1.25	1.21	0.71	94	ロハスト × プラネット	5.8	
507H11419	シニガル ベイ ハッドライナー ET	2,484	1,743	71	0.04	57	0.02	99	3.21	3.1	2.36	1.58	2.03	98	ロハスト × プラネット	7.8	
507H11477	デスター BKM マッカチェン 1147	2,468	872	50	0.14	31	0.04	99	2.84	2.8	3.23	2.91	2.72	99	ブツケム ショトル	7.4	
507H11169	ウエルカム スーパー ベトロ	2,426	534	34	0.12	7	-0.08	99	2.62	7.9	1.21	1.57	1.36	99	スーパースー	6.9	
507H11926	S-S-I モーグル デイエンダー ET	2,338	487	36	0.14	22	0.06	94	2.93	2.9	2.69	3.03	2.78	90	モーグル マホーマン	6.3	
507H10848	レデイス マナー RD グラヴィーティ ET	2,202	216	48	0.32	18	0.10	99	2.79	2.9	1.08	1.56	1.31	97	ブルデー × コールドウイン	6.8	
614H6809	キヤニオン フリーズ AT エアライト ET	2,031	787	24	-0.04	3	-0.18	98	2.87	-0.1	3.46	1.91	4.12	98	アットウット × ショトル	7.9	
614H6441	ハードスクワブル ハットレインガス	2,010	408	53	0.30	18	0.04	94	3.06	0.6	1.36	0.77	0.95	92	ハードレイ × スコープ	5.7	
507H10506	メイプル タウンス IGW アットウット ET	1,928	-24	27	0.24	3	0.04	99	3.04	-0.1	3.65	2.58	2.83	99	コールドウイン × ターハム	8.5	
507H11118	ミスター アットウット プロウ ET	1,970	-187	18	0.20	10	0.14	98	3.11	-2.6	3.32	2.96	1.83	97	アットウット × マツク	12.1	
507H10926	ミスター チャンジイー コールドアップ ET	1,877	-243	0	0.08	-21	-0.10	99	2.66	1.6	2.47	2.48	2.24	99	コールドウイン × ショトル	5.1	
507H11596	サイエンティフィック B デイアライト RC ET	1,759	342	-23	-0.28	1	0.08	97	3.17	-1.8	3.8	2.67	2.68	96	ブツケム × コールドウイン	11.5	

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。

～ 乳用牛改良情報 (ホル♀) ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な(H28年9月現在)検定済種雄牛(本会で扱っているもの)

L P I

バランスブリーディングガイド
《2016-4》

略号	種雄牛名号	LPI	乳量		乳脂肪		乳蛋白		体細胞	信頼度	体型のEBV			血統情報		管理形質		備考
			F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体型	尻			乳用強 優性	乳器	肢蹄	父	母	系統	分岐能力	
550H1009	マイプルウット プリューマスター	3,173	1,256	134	0.78	55	0.11	2.62	96%	9	10	8	6	8	ガレット × シトル	シトル	103	
777H6480	ハルビッツ トアマン ET	3,046	174	48	0.39	40	0.30	2.44	98%	18	5	18	14	14	フウカム × シトル	シトル	100	
777H3829	JK イダー I コントロール	2,984	853	19	-0.11	44	0.13	2.70	96%	17	11	13	12	14	スノーマン × ホルソン	ホルソン	99	
550H1002	ジエベージョンズ エピック	2,970	1,630	44	-0.13	55	0.01	2.85	99%	12	8	6	10	8	スノーバー × ハウスター	ハウスター	104	
777H2792	サンデーパレー サルーン ET	2,913	2,622	99	0.02	92	0.05	3.07	98%	6	-3	10	6	3	アイオタ × プラネット	プラネット	101	
777H3794	ブランドット ビュー ホリス ET	2,802	555	33	0.11	32	0.12	2.87	96%	9	0	4	12	3	ジェラト × プラネット	プラネット	111	
777H5929	ジエベック プラガー	2,747	724	44	0.15	44	0.17	2.88	99%	8	5	0	6	10	ハウスター × シトル	シトル	101	
777H5592	クラックホルム ファイバー ET	2,744	239	35	0.25	9	0.01	2.65	99%	11	8	4	8	13	コールドウイン × フリッツ	フリッツ	99	
777H6183	コムスター レラスト ET	2,650	1,210	44	-0.01	49	0.07	3.17	95%	8	2	4	10	6	プラネット	ホルソン	104	
777H6050	ブルーノーズ ライジングスター ET	2,528	1,267	46	-0.01	60	-0.15	2.89	93%	5	5	5	2	4	ズトル ジョウク	シトル	104	
777H2644	ミスター スプリング スモーキン ET	2,419	1,405	87	0.30	54	0.06	3.16	97%	8	9	13	4	7	ラハンガード	エビーアイ	102	
777H2137	パインツリー シト ET	2,043	-263	9	0.17	-2	0.05	2.92	99%	11	6	10	13	0	ミスター × ファイバー	ファイバー	96	

入手難易度

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

〔管理形質の見方について〕

分岐難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難産率を示します。
 難産率は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分岐難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上を促す重要な要素となります。

《2月新規牛でNTP40位以内》

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農協 生産指導部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定種雄牛(本組合で扱っているもの)

総合指数順 (N T P)

《2016-8》

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (NTP)	生産能力のEBV(推定管理値)				体型のEBV				体細胞 スコア	血統情報	管理形質						
							M (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体貌と 骨格	肢蹄 強度			乳用強 健性	乳器 発達	決定 得点	父牛	母系祖父	産子 難易度	在群期間泌乳持続性
?	1	JP3H55926	ウインザ・マナー SW ナイガラ ET	95,919	171,481	2,775	1,785	69	0.00	157	0.01	51	-0.06	0.63	0.18	0.37	0.44	2.34	ナイガラ × プラネット	6	102	0.71	
?	3	JP4H55951	アイユー レディスマナー ショーシ	66,561	131,231	2,574	1,343	58	0.06	117	0.00	45	0.01	0.20	0.94	1.00	1.09	2.45	ビーゴ × アイネット	6	100	1.19	
?	4	JP3H55992	ライジンガサン サマー ソニック ET	48,177	124,699	2,483	1,275	60	0.10	107	-0.04	43	0.02	1.22	0.69	1.45	1.45	2.53	ビーゴ × プラネット	7	99	0.10	
?	5	JP2H56211	NLBC ハルサ ハベツ	57,692	109,522	2,289	1,117	41	-0.02	106	0.08	47	0.10	-0.26	0.34	-0.11	0.97	0.72	2.22	ハルサ × プラネット	6	101	-0.37
?	6	JP3H55839	アイユー ナイト エコアス ET	81,489	121,800	2,255	1,302	27	-0.22	130	0.15	45	0.03	0.68	0.34	0.40	1.30	1.58	ナイガラ × マイコール	6	101	-0.59	
?	8	JP4H56017	クリンバヴ ロドスター ET	69,015	119,566	2,193	1,261	47	-0.02	109	-0.01	42	0.01	-0.16	0.05	1.15	0.55	2.78	アイネット × アイネット	5	101	1.17	
?	11	JP5H55816	ハンジーン スーパー レジエント	78,194	149,630	2,159	1,797	29	-0.37	142	-0.14	46	-0.11	0.78	0.70	1.13	1.03	1.74	スーパー × ハウス	7	101	1.13	
?	14	JP5H55912	クリンバレー スーパー マンデー ET	59,320	84,587	2,102	778	47	0.17	76	0.08	29	0.04	0.21	1.00	1.32	1.14	2.02	スーパー × ハウス	6	100	1.29	
?	15	JP3H55953	レイハ ナイガラ ハリッシュ ET	64,610	91,832	2,096	899	41	0.06	87	0.08	33	0.04	0.94	0.20	0.89	1.52	1.80	ナイガラ × ハリッシュ	6	101	0.09	
							110,435	2,093	42	0.08	103	0.12	38	0.11	0.52	0.49	0.69	1.08	1.00	2.05			

入手難易度

A: 配種希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の激しいもの)。 C: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの)。 D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの)。 E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの。 牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛複合骨椎形成不全症(CV)は掲載牛全頭検査済みで、保因牛については名号の後に*BYOと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

NTP上位40位以内【新規牛は除く】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県農協 生産指導部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本組合で扱いはあるもの)

総合指数順 (N T P) 《2016-8》

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (NTP)	生産能力のEBV(推定管理値)						体型のEBV				体細 胸スコア	血統情報		管理形質			
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体高と 骨格	肢蹄	乳用 強健 性		乳器	決定 得点	父	母	親子検査年	在群期間
B	2	JP5H55552	サンアード スーパー エモーション ET	122,665	133,742	2,626	1,378	60	0.06	118	-0.02	41	-0.03	0.09	1.03	0.82	1.00	0.91	1.57	スーパー × ハウス	7	102	0.86
A	7	JP5H55389	リリヒル プラネット シュークリン ET	42,923	118,865	2,197	1,223	35	-0.12	124	0.16	51	0.11	0.78	-0.01	0.99	0.79	0.82	2.29	プラネット × ランスト	7	100	-0.33
A	9	JP2H56023	NLBC フロートリー リス	52,729	98,596	2,192	948	39	0.02	100	0.17	45	0.14	0.98	0.42	1.42	0.82	0.99	1.89	ブロンコ × ハウス	6	100	0.59
A	10	JP3H55731	ケネカランド プラット ユップ ET	48,763	124,260	2,186	1,288	46	-0.04	119	0.06	54	0.12	0.04	-0.07	-0.07	-0.20	-0.26	2.57	プラネット × ユップ	6	100	0.93
A	12	JP3H54722	SP プラネット ハウスター ET	84,079	96,349	2,128	771	66	0.36	88	0.20	40	0.15	-0.09	0.16	-0.24	-0.03	-0.01	2.28	ハウス × オマン	8	102	1.91
A	13	JP3H55747	JC レジエント ハンド	95,455	108,096	2,116	1,220	17	-0.29	115	0.08	42	0.02	2.16	0.52	0.96	1.50	1.69	1.65	ブロンコ × コーポウェイ	5	101	1.44
A	16	JP3H55079	マックスデリー ニホロ ET	71,788	88,899	2,092	523	46	0.26	67	0.22	35	0.18	0.80	0.28	-0.11	0.87	0.83	1.88	ジェントストリー × リフ	6	100	0.42
A	17	JP5H55723	モンマ プリスク ET	38,129	146,600	2,046	1,548	61	0.01	130	-0.05	46	-0.04	-0.08	-0.58	-0.26	0.25	-0.21	2.91	プラネット × トリストリー	8	100	1.45
A	19	JP5H55230	エタルト エーカ RCA マステイ ET	98,327	88,838	1,992	889	36	0.02	85	0.07	43	0.14	0.13	0.15	-0.22	0.74	0.62	1.86	ハウス × オマン	7	103	0.22
A	23	JP3H55206	エルムレン ミスター アレックス	33,521	151,065	1,973	1,714	40	-0.24	143	-0.06	46	-0.09	0.44	-0.02	1.03	0.15	0.31	2.28	ハウス × ジェントストリー	10	99	1.65
A	24	JP3H54828	グリーンハイウェイ ET	79,443	73,499	1,963	826	49	0.17	41	-0.31	27	0.00	0.60	0.37	1.06	1.33	1.18	1.67	ハウス × コーポウェイ	8	103	-0.43
A	26	JP3H55177	エンダー コスモ キヤクワン ET	38,278	149,992	1,895	1,629	60	-0.03	131	-0.11	38	-0.14	0.60	-0.52	1.14	0.07	0.09	1.90	プラネット × ユップ	8	99	0.29
A	27	JP3H54848	ウチ ロスカ ミスター サイオン	20,005	87,991	1,847	809	57	0.25	72	0.01	36	0.10	1.78	0.50	1.63	-0.55	0.36	2.50	ハウス × ウィザード	10	99	1.39
A	28	JP5H54423	WHG ハーレッタ ジャムナ ET	44,448	64,291	1,943	452	60	0.44	49	0.10	23	0.09	0.15	0.42	0.96	1.07	0.90	2.18	ハツハイ × タイエン	7	100	0.09
A	29	JP3H55046	オムラ スイテイ ヤルジャン ET	19,099	20,647	1,805	-146	47	0.58	21	0.37	27	0.35	1.82	0.73	2.11	0.96	1.45	2.26	ハウス × ダーハム	9	99	0.18
A	30	JP4H54859	モントラップ コーデルテン ホルトン ET	68,759	12,186	1,804	-285	61	0.80	2	0.30	21	0.34	-0.60	-0.04	-0.31	0.49	-0.05	2.04	ホルトン × オマン	11	102	0.66
A	31	JP5H55084	オムラ スイテイ ET	18,932	124,279	1,783	1,368	39	-0.13	116	-0.03	43	-0.01	1.15	-0.18	0.47	-0.19	0.41	1.89	ロープデイ × 叻	6	98	-0.51
A	32	JP4H55358	TLM デュロット シグナル	36,141	108,105	1,777	1,055	49	0.08	102	0.09	42	0.08	-0.86	-0.21	-0.59	-0.70	-0.69	1.93	ジャクソン × 邦一	7	98	0.00
A	33	JP3H55560	フロケット エーカ FV エレベーション ET	67,804	33,194	1,750	177	18	0.12	45	0.31	30	0.26	1.01	0.50	0.63	0.98	1.11	1.68	マオマン × ホルトン	5	101	0.37
A	34	JP3H55421	スミター ローマン ジョー	47,386	76,204	1,739	675	63	0.37	51	-0.08	20	-0.02	0.77	0.47	0.77	1.07	1.00	2.36	ジョー × 叻	9	100	-0.45
A	35	JP0H55536	NLBC ベリクレース オール ET	28,350	44,321	1,734	295	30	0.19	48	0.23	28	0.19	1.57	0.27	1.48	1.02	1.47	2.04	ベリクレース × サキ	12	100	1.46
A	36	JP5H55782	リバーサイド グレイブ ET	64,142	50,602	1,720	415	30	0.14	50	0.14	23	0.10	1.56	1.05	0.97	1.21	1.51	1.94	マオマン × コーポウェイ	7	101	0.95

入手難易度

A:配布希望本数に於いて供給可能なもの。 B:割当配布(時期により入荷の激しいもの) C:制限配布(非常に少量入荷が続いているもの) D:制限配布(非常に少量入荷が続いているもの) E:本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性支那症(BL)及び牛複合青椎形成不全症(GV)は掲載牛全頭陰性。プラキスハイナ(BV)については、掲載牛全頭検査済みで、保因牛については名号の後に*BYGと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

～ 乳用牛改良情報 ～ (ホル♀)

兵庫県酪産 事業部 購買課

《2016-8》

総合指数順 (N T P)

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本会で扱っているもの)H28.8現在

供給 種別	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (F)	乳代 効果 (F)	総合 指数		生産能力のEBV(推定育種値)						体型のEBV			体細胞 スコア	血統情報	管理形質		備考					
					M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体積と 骨格	肢蹄	乳用強 健性	乳器			決定 得点	配子異変率		在群期間	泌乳持続性			
?	JP5H55552X	サンワード・スーパ・エモーション ET	122,665	133,742	2,626	2,197	1,223	60	0.06	118	-0.02	41	-0.03	0.09	1.03	0.82	1.00	0.91	1.57	父 牛	x	母系祖父	7	102	0.86
?	JP5H55389X	リール プラネット シューケイン ET	42,923	118,865	2,197	1,223	35	-0.12	124	0.16	51	0.11	0.78	-0.01	0.99	0.79	0.82	0.82	2.29	父 牛	x	ラズロフ	7	100	-0.33
?	JP3H55731X	ケネディ プラネット エリア ET	48,763	124,260	2,186	1,288	46	-0.04	119	0.06	54	0.12	0.04	-0.07	-0.07	-0.20	-0.26	0.91	2.57	父 牛	x	ジョナサン	6	100	0.93
?	JP3H55747X	JC レジエント ハンド	95,455	108,096	2,116	1,220	17	-0.29	115	0.08	42	0.02	2.16	0.52	0.96	1.50	1.69	1.69	1.65	父 牛	x	ゴードウィン	5	101	1.44
?	JP5H55230X	エグジスト エカー RCA ミスディ ET	98,827	88,838	1,992	889	36	0.02	85	0.07	43	0.14	0.13	0.15	-0.22	0.74	0.62	0.62	1.86	父 牛	x	ボーン	7	103	0.22
?	JP3H55206X	エルムレン ミスター プラネット ET	33,521	151,065	1,973	1,714	40	-0.24	143	-0.06	46	-0.09	0.44	-0.02	1.03	0.15	0.31	0.31	2.28	父 牛	x	ジェットスターム	10	99	1.65
?	JP3H55177X	エンバーク コスモ キングダム ET	38,278	149,992	1,895	1,629	60	-0.03	131	-0.11	38	-0.14	0.60	-0.52	1.14	0.07	0.09	0.09	1.90	父 牛	x	ジョナサン	8	99	0.29
?	JP5H54423X	WHG ハーレツタ ジャムナ ET	44,448	64,291	1,843	452	60	0.44	49	0.1	23	0.09	0.15	0.42	0.96	1.07	0.90	0.90	2.18	父 牛	x	タビコック	7	100	0.09

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の厳しいもの)。 C: 割当配布(少量入荷が続いているもの)。 D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの)。
※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県農協 生産指導部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な輸入検定済種雄牛(アメリカ)

T P I 順

米国ホルスタイン協会
《2016-8》

供給 難易	TPI 順位	略号	種雄牛名号	TPI	乳量 (kg)	信頼度				体細胞	生産 寿命	体型のEBV			血統情報		分娩 難易度	
						F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	肢蹄	信頼度	父牛		母系祖父
A	2	7H011351	シーガルハイ スーパーサイアー ET	TV TL	2,155	103	0.18	66	0.00	99	2.84	5.7	1.32	0.66	0.32	99	ロバスト × フラネット	7.4
A	3	7H011621	S-S-I スノーマン メイアワー ET	TV TL	287	57	-0.22	73	0.04	97	2.77	5.5	1.13	0.70	1.38	91	スノーマン × リンクス	7.2
A	4	7H011752	ロイレオン ブックム ホブ 5170 ET	TV TL	828	66	0.28	53	0.22	97	3.01	4.5	1.95	1.74	0.95	94	ブックム × オーマン	6.9
A	6	7H011708	テスルーキー 11057 ET	TR TV	1,024	77	0.32	41	0.08	94	2.78	5.7	1.89	1.37	1.17	92	ブックム × フロコ	5.7
A	7	7H011585	サンデイーハレー スターリング ET	TV TL	1,976	54	-0.16	60	0.00	99	3.15	5.6	2.14	1.08	1.63	97	ロバスト × フラネット	7.1
A	9	7H011383	S-S-I ブックム モーガン ET	TV TL	120	56	0.08	44	0.06	99	2.85	7.0	1.65	1.15	1.07	96	ブックム × シトル	7.3
A	10	7H011915	S-S-I モーグル マルチブライ ET	TV TL	346	61	0.38	6	0.12	89	2.89	7.5	1.45	2.10	2.61	85	モーグル × ロバスト	6.6
A	11	7H011314	マウントマイルド SSI DCY モーグル ET	TR TV	1,172	77	0.26	36	0.00	99	3.01	3.8	2.46	2.57	2.62	99	フロコ × マーシュ	6.0

入手難易度

A: 配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の厳しいもの) C: 制限配布(少量入荷が続いているもの) D: 制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに当組合まで注文願います】

〔管理形質の見方について〕

※ 分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
難易度8%が平均値で、この数値が高くなるほど、難産の可能性が高くなります。
特に未系産や尻幅のない小型の雌牛、ETとしての利用の交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をすすめる非常に重要な要素となります。

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所管内
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

9月5日にコンテナ取扱量世界第7位（シェア3%）、韓国大手の韓進海運に会社更生法が適用され、一部物流に混乱が生じています。会社更生法の適用により、港湾での作業料等の不払いを恐れ、世界の様々な港が韓進海運の船の入港を拒否していました。現在、この状況は徐々に解消されていますが、韓国海洋水産部によると、9月22日現在で荷役が完了した韓進海運のコンテナ船は35隻、残り62隻が、まだ入港出来ずに沖待ちとなっているようです。韓進海運は、北米から韓国へ向かう輸入乾牧草の3割以上を扱っていると言われており、韓国内では他国よりも混乱の度合いが大きいようです。

韓進海運の会社更生法の適用に加え、北米出しの貨物は秋から冬に向け、農作物等の輸出が活発化してくるため、昨年来、海上運賃の低迷の原因であった船腹の余剰感が徐々になくなっています。特にPNWからの貨物については例年以上に空コンテナの不足やスケジュール遅れなどに注意が必要になりそうです。

10月1日からの海上運賃一斉値上げ（GRI）については、ほぼすべての船社でGRIが実施され、10月出航以降の海上運賃はほぼ例外なく値上げとなります。さらに、11月以降もGRIを実施したい意向を見せている船社もあるため、海上運賃は上昇基調の局面に入ってきたと言えそうです。

海上運賃の値上げは北米航路だけではなく世界的な動きにもなっています。春先にヨーロッパからアジア向けの貨物の値上げが始まり、夏からは日本からの輸出の値上げ、そして10月以降は北米、豪州、アジア域内でも値上げとなっているようです。これらは、船社の収支改善だけではなく需給の動向に乗じての動きとなっており、各船社かなり強気の姿勢が見られます。

ビートパルプ

<米国产>

日本向けの主産地ミネソタ州及びノースダコタ州では、例年より若干早い8月18日～20日にかけて収穫がスタートし順調に推移しています。今後、収穫作業は畑が凍結し始める11月中旬まで行われ、製糖及びペレット製造は来春まで継続されます。

その他の地域でも順次収穫がスタートしており、9月の中旬には多くの地域の工場
で稼働がピークを迎えています。また、一部地域では生育期の降雨や湿度の影響で例
年をやや下回る単収になりそうですが、主産地全体では昨年並みの良好な作柄と言え
そうです。

<他国の状況>

韓国の輸入通関統計によると、8月のビートパルプ輸入数量は8,230トンで、
1～8月累計で108,482トンとなっています。引き続き、主力は米国産以外の
産地となっているようです。

中国では米国産ビートパルプに関して、既に米中両国の当局間にて手続き上の問題
はすべてクリアされており、輸入許可品目としていつ正式にアナウンスされるのを待
っている状態です。さらには米国産以外についても、中国向けへの輸出解禁に向け当
局間の手続きを進めているようです。中国向けの需要は大きく、米国産やその他の産
地が解禁された場合、日本のビートパルプ市場への影響は避けられないと考えられま
す。

アルファルファ

<ワシントン州>

主産地のコロンビアベースンでは4番刈の収穫が終盤を迎えており、南部では5番
刈の収穫が始まっているところもあります。1番刈で例年よりも多い70～80%程
度の降雨被害があり、2～3番刈でも40～50%程度で何らかの雨当たり被害が発
生したため、4番刈で良品が多く発生することが期待されました。しかしながら、4
番刈においても、2～3番刈と同様、程度の差はありますが雨当たりの被害が発生し
ている模様です。

4番刈は例年国内向けに販売される数量が多くなりますが、今年の輸出向けの品質
については、多くの圃場でウィンドローの時期に強風の日が続き、過乾燥気味な仕上
がりになっています。また、昼夜の気温差も大きくなってきており、夜露が多く下り
やすくなったことから、一部の圃場ではブリーチが多いものも発生しています。一方
で、今年の4番刈は全体的に早刈り傾向にあり、冷涼な気候も手伝って高成分に仕上
がったものが多いようです。

<オレゴン州>

南部のクラマスフォールズでは現在3番刈の収穫が終盤を迎えています。3番刈の品
質は、生育・収穫の進捗が早いこともあり、見た目・成分ともに2番刈に近い品質が
多く発生しているようです。また、一部圃場では早くも4番刈が始まっています。今
年は70%程の農家で4番刈まで収穫できると言われており、10月中旬までにすべ

ての収穫を終える見込みです。産地相場については、高成分を求める米国内向けの引き合いが強まっていけば、現状よりも強含みで推移していくと思われます。

中部のクリスマスバレーでも、9月中旬に3番刈が開始され、9月末にはほとんどの圃場で収穫が終了しています。3番刈はややブリーチが多いものの、例年並みのやわらかい品質に仕上がったものが多いようです。

<カリフォルニア州>

カリフォルニア州北部～中部では現在6～7番刈の収穫を行っています。今年は9月下旬になっても地域によっては温暖な気候が続いており、生育は早く進んでいるようです。生産されているものは緑目が濃くブリーチは多いようですが、成分的には昨年と比べて高いものが多く生産されているようです。高成分のものは引き続き高値で推移しているようです。

南部インペリアルバレーでは6番刈の収穫まで進んでいます。引き続き成分が低いものが多く生産されていますが、中国からの需要は衰えておらず、一部の輸出不適格なものや低成分のもの除き、産地相場は堅調に推移しております。

米国産チモシー

主産地のエレンスバーグ、コロンビアベースンともに2番刈の収穫を終えています。今年の1番刈は例年より2週間早く刈り取り開始されましたが、収穫期に天候不順の影響を受け上級品の発生は予想より少ないものになりました。上級品の不足の影響で、価格は堅調に推移しています。また、10月より屋内燻蒸が開始されます。

2番刈は相場の低迷を背景に、とうもろこしや豆類への転作が増え、作付面積は昨年比30～40%減少したと言われてしています。

2番刈の作柄は、収穫期の高温と高湿度により上級品の発生量が限られています。米国内向けの需要が堅調なことに加え、1番刈の上級品の発生も限られたことから、相場は高騰し高値で推移しています。

カナダ産チモシー

アルバータ州南部のレスブリッジの1番刈は収穫期の悪天候により、最上級品の発生はなく、上級品はごく一部生産されたものの、中級品が中心の作柄となっています。不安定な天候により収穫は7日～10日遅れで進んでいましたが、既に1番刈は全て収穫を終えており、単収は約3.0トン/エーカーで例年並みと言われてしています。

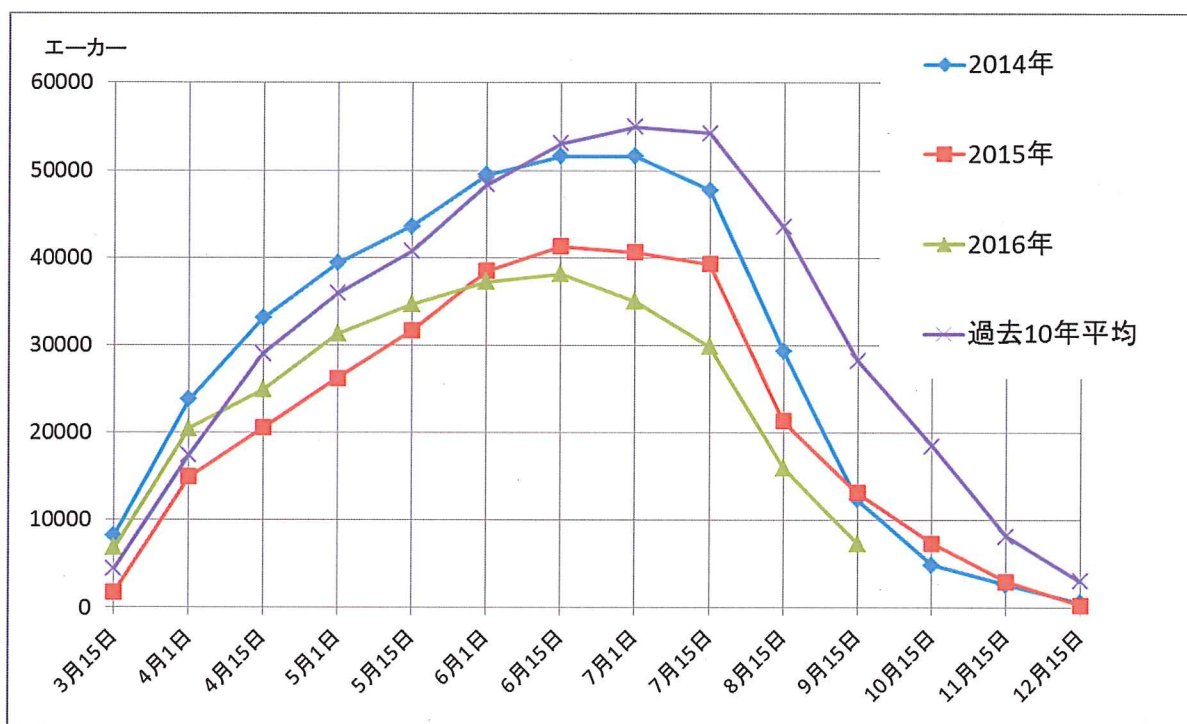
アルバータ州中部のクレモナも、収穫期の不安定な天候により良品がほとんどない状況です。非灌漑地域であるため、天候の影響を受けやすいうえ、今年は生育期である5～6月の早魃と収穫期の多雨により、ここ数年では最悪の作柄と言えます。生育

期の早魃により、今年の単収は1.5～1.75トン/エーカーと例年の6割程度まで落ち込んでおり、加えて収穫期の悪天候の影響により、上級品の発生はほぼない状況で中級品から低級品が中心となっています。

価格については、昨年末から始まった旧穀の米国産チモシー価格の下落と新穀の相場状況から、カナダ産の価格も15年産に比べ下がったものの、カナダ国内の需要が安定していることや、上級品が大幅に不足していることから、強含みに推移していくと思われます。

スーダングラス

主産地インペリアルバレーのスーダン収穫はほぼ終了しています。作付面積は6月をピークに例年より急速な減少を見せており、9月16日現在では昨年の半分程度になっています。これは多くの生産農家が相場低迷による収益悪化から早めの休耕や転作を行ったことが原因と言われています。新穀の相場は昨年に比べ若干軟化はしたものの、生産量の減少により特に需要が強い上級品やいわゆる色抜け品の価格は当初の予想ほどの値下げは見られません。



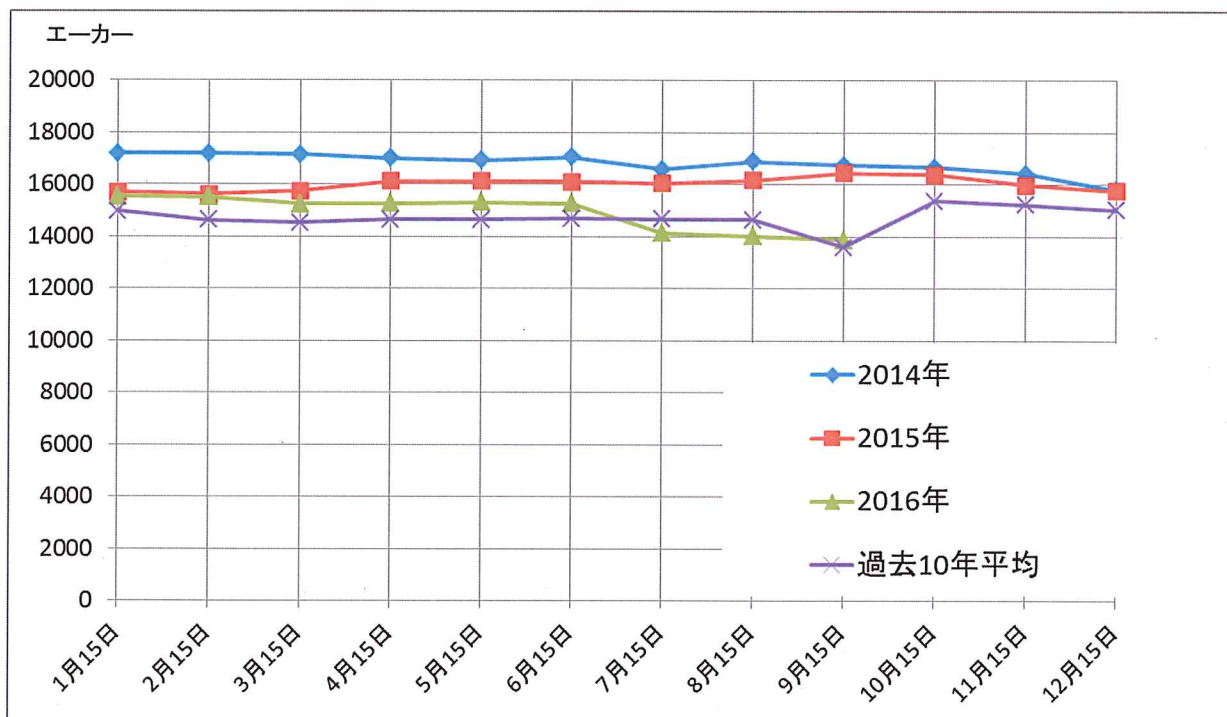
2016年産インペリアルバレー スーダン作付面積動向 (2016年9月15日時点)

	3月15日	4月1日	4月15日	5月1日	5月15日	6月1日	6月15日	7月1日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	8236	23795	33118	39364	43597	49495	51586	51594	47756	29337	12376	4879	2646	568
2015年	1752	14942	20561	26214	31644	38502	41260	40633	39247	21329	13150	7345	2998	278
2016年	6874	20497	24929	31326	34651	37268	38130	34990	29859	15979	7335			
過去10年平均	4428	17440	28980	35873	40716	48350	53059	54981	54247	43518	28231	18479	8142	3033

北カリフォルニアにおいても、産地価格の下落から昨年に比べて作付面積が大幅に減少しており、野菜等のより換金性の高い作物への生産に移行しています。両産地とも生産量の減少により、現地相場は強含みとなっています。

クレイングラス(クレインは全酪連の登録商標です)

クレイングラスの収穫は9月末時点で5番刈の終盤を迎えています。作付面積の減少傾向は続いているため、5番刈以降の大幅な生産量の増加は見込めず、湿度が高まる時期にも入っていることから、今後多くの良品が発生する可能性は低いと言えます。生産面の状況に加え、日本と韓国からの需要は堅調に推移していることから、今後、良品の産地相場が軟化することは考えにくい状況です。



2016年産 インペリアルバレー クレイングラス作付面積動向(2016年9月15日時点)

	1月15日	2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	17192	17192	17140	17005	16930	17038	16578	16873	16745	16659	16413	15786
2015年	15691	15605	15724	16111	16111	16086	16026	16152	16430	16372	15974	15746
2016年	15526	15501	15234	15255	15295	15262	14142	14002	13871			
過去10年平均	14955	14610	14515	14643	14628	14676	14652	14632	13596	15361	15224	15027

ストロー類(フェスキュー・ライグラス)

主産地のオレゴン州ウィラメットバレーではストローの収穫は8月中に終了しています。現地では過剰気味だった旧穀の在庫も少なくなり、出荷は徐々に新穀に切り替わってきているようです。ライグラスストロー、フェスクストローともに降雨被害は大きく、雨あたりを避けられた良品への引き合いは強まる見込みで、これらの価格は今後堅調に推移すると思われます。良品の供給数量や価格動向が明確になるにつれ、どのような代替品へ需要が移行していくのか注目されます。

豪州産オーツヘイ

<西豪州>

西豪州では、総じて播種期前後から降雨に恵まれ、生育は順調に進んでいます。降水量が比較的少ない北部や内陸部では一部圃場で収穫作業が始まっており、ベアリングまで終了している圃場も出てきています。しかしながら、大半の地域では9月に入っても気温が予想よりも上がらず、毎週のように降雨の予報が出ていることから、収穫作業がほとんど進んでいない状況です。すでに収穫された地域での降雨被害も報告されており、現時点では過去2年のような高成分傾向の良品は少なく、苦戦を強いられる要素が多いと判断できそうです。さらに長期予報では10月も平年並みの降雨が予想されているため、今後収穫が本格化する中、品質や生産量にどのような影響を及ぼすか注目されます。



西豪州北部 圃場によって異なる生育状況（9月中旬撮影）

<南豪州>

南豪州でも9月は断続的な降雨が観測されました。さらに、9月28日には過去になかったような、大雨と強風が輸出港であるアデレード港を中心とした広範囲で観測されました。送電線が切れるなどの影響により広範囲で停電となっており、街中では冠水に見舞われたところもあったようです。

この荒天に見舞われた地域は牧草の主産地とは異なりますが、一部の圃場では収穫直前のものに倒伏等の被害が出ている模様です。収穫は今後本格化していきませんが、西豪州と同様に例年以上の降雨があり、気温も十分上がらないとの予報が出ているため作柄への影響には注視が必要です。

<東豪州>

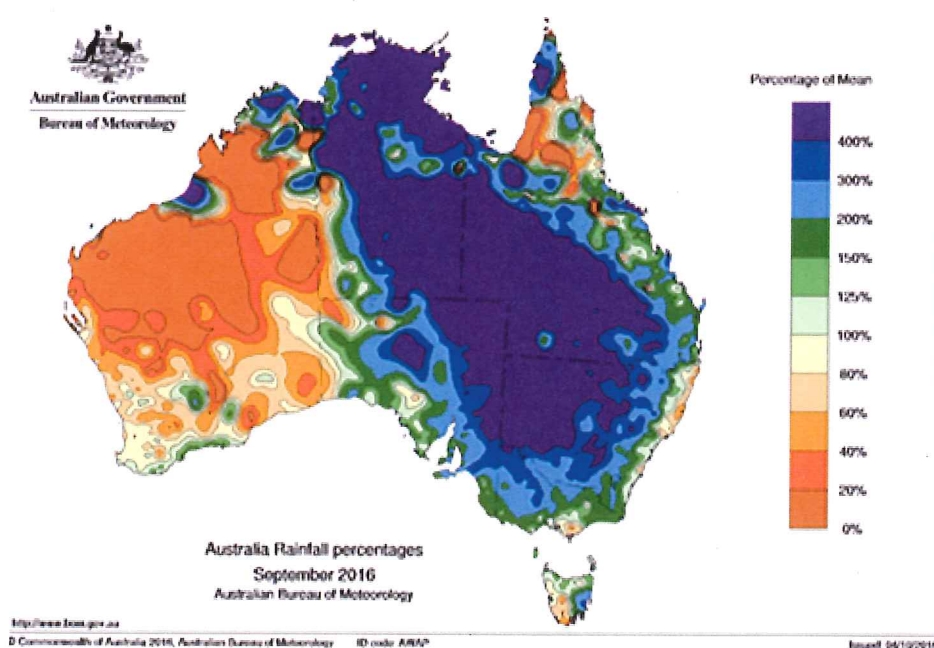
東豪州も断続的な降雨が観測され降水量は例年以上となっています。降雨により圃場の土壌水分が高く、収穫に入れないという場面が増えているようです。この影響で適期に収穫できない圃場も増えそうです。さらには、風雨による倒伏も

多くみられるようで品質の劣化が増え、上級品の発生が限定的になってくるおそれもあると言われてしています。このように、東豪州においても現時点では上級品が多く発生しうる環境とは言えません。



東豪州 一部倒伏のある圃場（9月中旬撮影）

以上のように、主産地全3州における新穀の上級品の発生は限られてくる可能性が高くなってきています。この状況を考慮し、一部のサプライヤーは生産農家が保有している未契約分の旧穀の上級品を高値で積極的に買いつけています。高値で旧穀在庫を買い足していることに加え、豪州航路でも海上運賃の値上げが始まっており、10月以降の旧穀価格は大幅に値上がりをしています。



豪州 9月の降雨状況(例年比%)

以上